

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	アワセゴルフ場周辺まちづくり整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備	
担当部署名	建設課	事業実施年度	平成27	~	平成30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	アワセゴルフ場跡地を中心に、返還予定のロウワープラザ地区やその周辺一帯が、村の観光拠点としたまちづくりが行えるよう検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	合計	
	A. 予算現額	10,000	10,000	8,468	5,055	33,523	
	B. 執行済額	9,828	9,931	7,943	4,764	32,466	
	うち 交付金充当額	7,862	7,944	6,354	3,811	25,971	
	執行率(%) (B/A)	98.3%	99.3%	93.8%	94.2%	96.8%	
執行状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	アワセゴルフ場周辺まちづくり勉強会の実施	目標	2回	2回	2回	-	-
		実績	2回	2回	2回	-	-
	駐車場最適についての検討	目標	環境調査の実施	環境調査の実施	最適地の検討	-	-
		実績	環境調査の実施	環境調査の実施	最適地の検討	-	-
	基本構想の検討	目標	-	-	-	基本構想の検討	-
		実績	-	-	-	基本構想の検討	-
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	周辺まちづくりにおける課題や検討、駐車場最適について絞り込み、整備手法について作成する。	目標	課題の把握	将来構想図の整理	整備手法の作成	-	-
		実績	課題の把握	将来構想図の整理	整備手法の作成	-	-
	基本構想の策定	目標	-	-	-	基本構想の策定	-
		実績	-	-	-	基本構想の策定	-
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	策定する基本計画において成果を設定する。	目標	-	成果設定	成果設定	
		実績	-	未設定	検討中	
	目標					
	実績					

状況説明

【R1年度】
・R1年度において、基本計画を策定する予定であったが、本村の予算編成上の制限により中断している状況である。

【R2年度】
・アワセゴルフ場周辺地域となる市街化編入や地区計画の導入等を検討するため、沖縄県と意見交換を行うなど、土地利用の検討を進めたが、地域住民との合意形成が必要といった課題があり、基本計画を策定することができず目標達成には至らなかった。

【R3年度】
・本事業においては、アワセゴルフ場周辺地区における土地利用の検討を進める予定だったが、沖縄県による那覇広域都市計画区域の区域区分の在り方について検討が開始されたことを受け、本村においても当地区周辺でなく、村全体の都市計画の区域区分の在り方について検討を行う必要が生じたことから目標達成には至らず、現在及び将来の需要を踏まえたまちづくりを目指すため、中城村と北中城村との共同のまちづくり計画策定に向け取り組んでいる状況である。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R1年度】 ・アワセゴルフ場周辺の幹線道路では、時間帯によって交通渋滞の発生により渋滞を回避するため、集落内の狭隘な道路部への通過交通が発生し周辺地域の円滑な土地利用に課題がある。</p> <p>【R2年度】 ・地域住民との合意形成やアワセゴルフ場周辺に位置する返還予定の駐留軍用地の土地利用とも連携したまちづくりを検討する必要があるため、基本計画の策定に更なる時間を要す課題がある。</p> <p>【R3年度】 ・沖縄県が実施した都市計画区域の区域区分の検討により、市街化編入や市街化調整区域内の土地利用において要件緩和が検討されたことから、アワセゴルフ場周辺地域だけでなく村全域においても土地利用の検討が行えることにより、本事業の目的である村の観光拠点としたまちの形成が期待できる。</p>	<p>【R1年度】 ・アワセゴルフ場周辺地域の屋宜原地区(市街化調整区域)において、集落内での道路拡幅等の改善策や渋滞緩和となる二次幹線道路等を検討するため、関係機関と今後の市街化編入や地区計画の導入について意見交換し、課題解決に取り組む必要がある。</p> <p>【R2年度】 ・左記を踏まえ、地域との合意形成を図る必要がある。</p> <p>【R3年度】 ・沖縄県が実施した区域区分の検討により、要件緩和が実現した場合と非線引き都市計画区域での土地利用を比較検討した場合、どちらが今後の村の発展となるまちづくりが可能となるかを検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R1年度】
・アワセゴルフ場周辺地域の屋宜原地区において、地域の住宅環境や道路状況の改善を図る目的として、市街化調整区域における地区計画を検討するため、沖縄県や関係市町村等と意見交換を行い連携強化に向けて取り組む。

【R2年度】
・アワセゴルフ場周辺地域の市街化編入や地区計画の導入に向け、引き続き沖縄県と調整を行うとともに、対象地域の代表者等(自治会役員)との意見交換に取り組む

【R3年度】
・今後の村の発展となる土地利用を検討するために区域区分(市街化区域・市街化調整区域)の在り方について中城村と共同のまちづくりについて検討を実施中。更なる現在の市街化調整区域となる地域の問題や有効な土地利用に向け検討を進める。

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア 早期の事業着手に向けた取組	
担当部署名	建設課	事業実施 年度	平成 24	~	令和 2	年度 III-8	
事業内容	駐留軍用地「アワセゴルフ場」の返還合意から土地利用に至るまでの過程を歴史文化として継承するため、映像記録及び編集を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	5,950	1,000	1,074	1,298	9,322	
	B. 執行済額	5,858	998	1,074	1,298	9,228	
	うち 交付金充当額	4,682	798	859	1,038	7,377	
	執行率(%) (B/A)	98.5%	99.8%	100.0%	100.0%	99.0%	
執行状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	映像の撮影時間	目標	3時間	3時間	3時間	3時間	
		実績	3時間	3時間	3時間	3時間	
	記録映像撮影の実施	目標					撮影実施(2回)
		実績					撮影実施(2回)
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	全体の記録映像の作成進捗率	目標	70%	86%	78%	89%	100%
		実績	70%	67%	78%	89%	100%
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		年度	年度	年度	年度	R3年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	村HPアクセス数	目標				660回
		実績				551回
		目標				
		実績				

【 R3年度】
 ・村HPだけでなく観光協会HPへリンクバナーを設置することにより、観光協会からのアクセス数が387回と増えるものの、若干ではあるが目標達成より下回った結果となった。

【 年度】
 ・

【 年度】
 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R3年度】 ・村HPだけでなく、アクセス数の多い村の観光協会HPにリンクバナーを設けたことにより、アクセス数の増加に繋がったが、村HPでの配信場所がわかりずからかったことが目標を下回った要因と考えられる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度】 ・観光協会におけるリンクバナーを設けた効果でアクセス数の増加が図れたことで、更なる周知方法や関係機関HPへのリンクバナーを設ける検討が必要。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】
 ・アワセゴルフ場(ライカム地区)に隣接する今後の返還予定地となるロウワープラザ地区の地権者準備会が発足したことにより、今後の地権者説明会等で当事業の成果を周知し、更なるアクセス数の増加を図る。

【 年度】
 ・

【 年度】
 ・

市町村名		北中城村					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	農を活かした北中城活性化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備		
担当部課名	農林水産課	事業実施 年度	平成 28	～ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	水耕栽培実証実験施設の事業施設化に向けた仕様の策定と当該施設に必要なエネルギーや耕作放棄地の再生に資する堆肥化を食物残渣で賄えるよう、事業化に向けた施設の仕様の策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	157,691	30,927	30,272	11,232	230,122	
	B. 執行済額	155,475	30,267	29,060	11,209	226,011	
	うち 交付金充当額	124,380	24,213	23,248	8,967	180,808	
	執行率(%) (B/A)	98.6%	97.9%	96.0%	99.8%	98.2%	
執行状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	水耕栽培施設の仕様の策定	目標	実証実験設備の整備	実証実験実施	実証実験実施	実験完了	施設仕様の策定
		実績	実証実験設備の整備完了	実証実験実施	実証実験実施	実験完了	施設仕様の策定完了
	エネルギー化・堆肥化施設の最適仕様の策定	目標				計画検討	仕様の策定
		実績				検討完了	仕様の策定完了
	6次化商品試作品の改良及びテスト販売の実施	目標					実施
		実績					実施
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R5年度
	品目毎の最適な施設仕様の策定	目標	実証実験実施の完了	実証実験実施の完了	施設仕様の策定完了		
		実績	実証実験の完了	実証実験の完了	施設仕様の策定完了		
	整備地域の電力需要を踏まえた発電施設最適仕様の策定	目標		基本設計の策定	仕様の策定		
		実績		基本設計の策定	仕様の策定		
	試作品の改良及びテスト販売	目標			実施		
		実績			実施		
	【R2成果目標】 6次産業化による特産品の開発	目標			3品		
		実績			3品		
	【R2成果目標】 上記の販売事業化となる村内販売店	目標			2件		
		実績			1件		
	【R3成果目標】 再生資源化村施設の導入	目標				1件	
		実績				0件	
	【R5成果目標】 民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数	目標					2件
実績							

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R5年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	【R3成果目標】 再生資源化村施設の導入	目標	1件	-	-	-	-
		実績	0件	-	-	-	-
	【R5成果目標】 民間による小規模分散型バイオガス発電設備設置数	目標	-	-	2件	-	2件
		実績	-	-	-	-	
状況説明	<p>【R3年度】 ・当初3か所候補地を選定していた箇所が精査した結果、実現の可能性がある候補地1か所になったことに加え、当バイオガス発電施設整備に意欲を示している民間事業者による施設整備が期待できることから、現在、候補地の1か所において民間事業者への事業促進を図っている。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R3年度】 ・R1年度候補地3か所における最大目標値として村施設1件を設定したが、候補地が1か所に絞られ、民間事業者による再生可能エネルギー発電施設整備に向け調整を進めることになったため目標達成に至らなかった。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度】 ・村施設に代わり再生可能エネルギー(バイオガス)発電設備導入予定である事業者への支援や、バイオガスの発電見込みと供給先の精査が必要である。また、災害時のエネルギー供給について、エネルギーの受ける施設の設置者との協議を進める必要がある。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】 ・事業推進に係る関連都市計画等(農新農用地の見直し、道路事業 他)について所管課との調整を進めていく必要がある。 ・今後は村内に本事業内容の周知を図ることで、全村をあげた取り組みにつなげる。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>

市町村名	北中城村						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	学校ICT活用支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
担当部課名	教育総務課	事業実施 年度	令和 2年度	～	令和 2年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	大型ディスプレイ等のICT環境を整備し、分かりやすい授業を実践することによる学校教育の質の確保や教員のICT機器の習熟度を高めることにより、児童生徒の学力・情報活用能力等の向上を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	合計	
	A. 予算現額	22,425				22,425	
	B. 執行済額	22,425				22,425	
	うち 交付金充当額	17,939				17,939	
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%	
執行状況の説明	入札執行残により、3,715千円を減額し、計画的に執行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	大型ディスプレイの整備 (村立小中学校:普通教室、特別支援教室、特別教室)	目標	実施				
		実績	実施				
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	大型ディスプレイの整備完了	目標	完了				
		実績	完了				
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R3年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	「ICT活用授業は分かりやすかった」と答えた生徒の割合	目標				80%以上
		実績				91.8%
	「ICTを用いて分かりやすい授業ができた」と答えた教職員の割合	目標				80%以上
		実績				84.5%

【R3年度】
・学校教職員及び児童生徒(小5～中3)へアンケートを実施した結果、「ICT活用授業は分かりやすかった」と答えた生徒の割合は91.5%、「ICTを用いて分かりやすい授業ができた」と答えた教職員の割合は84.5%と目標値を達成した。

状況説明
【 年度】
.

【 年度】
.

【完了後】事業効果等の確認
(施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)

【完了後】改善措置等の検討
(事業効果の更なる向上等)

【R3年度】
・成果目標は達成しているものの、教職員によってICT機器を活用した授業展開に差が見られる。
・児童生徒の大多数(754人中692人)は、分かりやすい授業であったとの回答であったが、分からないと回答した児童生徒がいることから、理解しやすい教材作成などの教材研究に今まで以上に取り組む必要がある。
・ネットワーク環境が悪いとの意見があるため、対応を検討する。

【R3年度】
・視覚的に分かりやすい授業の研修、答えの導き方や問題に対する読解力、児童生徒が理解しやすい教材作成など、これまで以上に研修や教材研究の充実を図る必要がある。

【 年度】
.

【 年度】
.

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】
・画像や動画、インターネットを活用した授業を行うことで、児童生徒の集中力を促し、楽しく分かりやすい授業環境を構築していく。そのためには、教員のICT機器の習熟度を上げるための研修を計画し、研修等の充実を図るのはもちろんのこと、機器などの環境整備にも力を入れ、不具合などが発生しないよう努めていく。
・GIGAスクール構想との関連を確認しながら取り組みを進めていく。
・ネットワーク環境の改善に向け、契約内容の見直し等を行う。

【 年度】
.